

社会福祉法人 河北会

平成27年度 事業報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

特別養護老人ホーム さくらぎの里

さくらぎの里短期入所生活介護事業所

さくらぎの里居宅介護支援事業所

平成27年度事業報告書（概要）

1. はじめに

平成27年度は、介護保険制度の改正により介護報酬の引下げ、特別養護老人ホームの入所要件が「要介護3」以上となり、また8月からは一定額以上の所得者の「利用者負担割合」と「利用者負担上限額」の引上げ、補足給付において「配偶者の所得」や「預貯金」を勘案しての判定等、法人経営に大きな影響を及ぼす1年となりました。

その中で、当法人では平成27年度～平成29年度までの活動期間にて「中期経営計画」を策定し、「事業への着実な取組み」と「経営基盤の強化」に注力してきました。

「中期経営計画」の平成27年度重点項目に対する実績は、期初から全職員に目標達成への意識付けを周知徹底したものの、外部環境や施設体制等から全ての項目を達成することは出来ませんでした。平成26年度に受審した第三者評価での指摘項目については施設全体で積極的に取組んだ結果、大きく改善され介護サービスの向上につながっております。

事業推進面では事業推進委員会が中心となり、「第6期介護保険事業計画・認知症対応型共同生活介護」に応募し当法人が選定され、事業規模拡大への第一歩となり、現在7月1日の開所に向け、準備を進めております。

多くの課題への対応に追われた平成27年度でありましたが、当法人にとって平成28年度は、平成16年7月に「特別養護老人ホームさくらぎの里」を開所してから12年目を迎え、新たに「グループホームさくらぎ」を開所する大きな変革となる年でもあります。「中期経営計画」の取組みは道半ばの状況ではありますが、平成28年度は当法人の新たな飛躍の第一歩を印すべく、経営基盤の強化に取り組み、法人事業全体の底上げを着実に進めて参ります。

平成27年度事業報告に当たり、施設のご利用者及びご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から温かいご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

<法人の運営>

1. 利用稼働率について

平成27年度の事業運営については、各事業所別の平均利用者数では、特養入所事業で短期入所から長期へ入所利用者の増加で空床率減少し、年間平均稼働率で前年対比+4.1%増、短期入所事業では長期への入所のほか、定期利用者の他施設への長期入所及び入院等により前年対比▲16.7%減、居宅介護事業では新規先確保するも長期入院または他施設への長期入所による契約終了が増加し平均件数前年対比▲5件の減少となりました。

2. 決算内容について

決算内容では事業活動計算書のサービス活動収益において、介護報酬の引下げとなった中で前述の理由等により総体で301,752千円と前年対比+1,967千円の増収、当期活動増減差額では、前年度にコスト削減策としてオムツやポリグローブ等介護用品の業者変更による通年効果、光熱費の節減図るため、エアコンの温度調整や照明器具のLED化、デマンド管理の徹底により事業費で前年比▲4%減少。しかしながら、「グループホームさくらぎ」の職員採用に伴い前倒して採用し、その他職員の昇給及び正規職員への移行により人件費が増加。また、経年劣化により設備機器の修繕及び代替購入費が大幅に増加したため、サービス活動増減差額で32,982千円と前年比▲13,574千円の減益となった。当期活動増減差額ではサービス活動外収益で12,582千円、特別収益としてグループホーム新規事業の補助金収益等で44,477千円を計上、最終的に85,485千円の計上で前期比+41,741千円の大幅な増益となったものの、サービス活動外での一時的な増益であり、次年度は短期入所稼働率の向上と居宅支援事業の新規先確保等による増収、経費削減策の実施と共に新規事業である「グループホームさくらぎ」を早期に軌道に乗せることで安定した経営基盤の強化に取り組む必要がある。

※上記内容の根拠資料については、【別紙1】利用者稼働状況

【別紙2-①・②】財務状況

3. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

回数	月日	場所	出席者	議案
1	27.5.18	2F会議室	理事8名 書面1名 欠席0名 監事2名	報告第1号 平成27年度介護保険制度の改正に伴う「重要事項説明書」及び「介護サービス利用契約書」の改正について

				議案第1号 平成27年度社会福祉法人河北会予算補正について
				議案第2号 平成27年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第3号 平成27年度社会福祉法人河北会決算報告について
				議案第4号 第6期介護保険事業計画への応募について
2	27.7.31	2F会議室	理事8名 書面1名 欠席0名 監事2名	報告第1号 第6期介護保険事業計画の運営事業者候補者の選定結果について
				議案第1号 社会福祉法人河北会定款の一部改正について
				議案第2号 社会福祉法人河北会評議員の選任について
3	27.8.6	2F会議室	理事7名 書面1名 欠席0名 監事2名	議案第1号 社会福祉法人河北会理事長の選任について
				議案第2号 社会福祉法人河北会理事長の職務代理の選任について
4	27.9.17	2F会議室	理事6名 書面2名 欠席0名 監事2名	議案第1号 第6期介護保険事業認知症対応型グループホーム建設に伴う設計管理業者の選定について
				議案第2号 第6期介護保険事業認知症対応型グループホーム建設に伴う建設業者の入札方法及び入札業者の選定並びに落札業者との工事請負契約の締結について
				議案第3号 第6期介護保険事業認知症対応型グループホーム建設に伴う借入金融機関の選定および基本財産の担保設定について
				議案第4号 福祉医療機構借入金（特養既存借入金）の償還方法の変更について
				議案第5号 第6期介護保険事業認知症対応型グループホーム建設に伴う建設予定地所有者との土地賃貸者契約の締結について
5	28.1.27	2F会議室	理事7名 書面1名 欠席0名 監事2名	報告第1号 第6期介護保険事業計画の建設業者入札結果及び進捗状況について
				議案第1号

				社会福祉法人河北会定款の一部改正について
				議案第2号 社会福祉法人河北会（仮称）グループホームさくらぎ運営規程並びに運営推進会議設置要綱の制定について
				議案第3号 社会福祉法人河北会（仮称）グループホームさくらぎ施設建設資金調達に伴うつなぎ融資の申込みについて
6	28.3.29	2F 会議室	理事 8名 欠席 0名 監事 2名	議案第1号 平成27年度社会福祉法人河北会予算補正について
				議案第2号 平成28年度社会福祉法人河北会事業計画（案）について
				議案第3号 平成28年度社会福祉法人河北会予算（案）について
				議案第4号 平成28年度社会福祉法人河北会積立金計上について

(2) 評議員会の開催状況

回数	月 日	場 所	出席者	議 案
1	27.5.18	3F 地域交流センター	評議員 17名 欠席 3名 監事 2名	報告第1号 平成27年度介護保険制度の改正に伴う「重要事項説明書」及び「介護サービス利用契約書」の改正について
				議案第1号 平成27年度社会福祉法人河北会予算補正について
				議案第2号 平成27年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第3号 平成27年度社会福祉法人河北会決算報告について
				議案第4号 第6期介護保険事業計画への応募について
2	27.7.31	3F 地域交流センター	評議員 16名 欠席 4名 監事 2名	報告第1号 第6期介護保険事業計画の運営事業者候補者の選定結果について
				議案第1号 社会福祉法人河北会定款の一部改正について
				議案第2号 社会福祉法人河北会理事の選任について
				議案第3号 社会福祉法人河北会監事の選任について

3	27.9.17	3F 地域交流センター	評議員 14名 欠席 3名 監事 2名	議案第 1 号 第 6 期介護保険事業認知症対応型グループホーム建設に伴う設計管理業者の選定について
				議案第 2 号 第 6 期介護保険事業認知症対応型グループホーム建設に伴う建設業者の入札方法及び入札業者の選定並びに落札業者との工事請負契約の締結について
				議案第 3 号 第 6 期介護保険事業認知症対応型グループホーム建設に伴う借入金融機関の選定および基本財産の担保設定について
				議案第 4 号 福祉医療機構借入金（特養既存借入金）の償還方法の変更について
				議案第 5 号 第 6 期介護保険事業認知症対応型グループホーム建設に伴う建設予定地所有者との土地賃貸者契約の締結について
4	28.1.27	3F 地域交流センター	評議員 16名 欠席 1名 監事 2名	報告第 1 号 第 6 期介護保険事業計画の建設業者入札結果及び進捗状況について
				議案第 1 号 社会福祉法人河北会定款の一部改正について
				議案第 2 号 社会福祉法人河北会（仮称）グループホームさくらぎ運営規程並びに運営推進会議設置要綱の制定について
				議案第 3 号 社会福祉法人河北会（仮称）グループホームさくらぎ施設建設資金調達に伴うつなぎ融資の申込みについて
5	28.3.29	3F 地域交流センター	評議員 15名 欠席 2名 監事 2名	議案第 1 号 平成 27 年度社会福祉法人河北会予算補正について
				議案第 2 号 平成 28 年度社会福祉法人河北会事業計画（案）について
				議案第 3 号 平成 28 年度社会福祉法人河北会予算（案）について
				議案第 4 号 平成 28 年度社会福祉法人河北会積立金計上について

3. 監事監査

監査月日	監査期間	出席者	所見ほか
28.5.11	H27.4.1～28.3.31	2名	平成27年度収支決算書

出納調査

調査月日	調査期間	出席者
28.1.20	H27.4.1～27.9.30	2名
28.5.11	H27.10.1～28.3.31	2名

4. 入所判定委員会

入所に関して透明性、公平性を確保すべく、入所判定委員会を下記の計2回開催し、8名の利用者が入所した。

開催数	開催日	入所者数
第1回	H27. 8. 19	6名
第2回	H28. 3. 14	2名

5. 苦情対応委員会

利用者の権利を擁護し、適切な施設運営を行うため、苦情受付窓口担当者及び苦情解決責任者を引続き配置し、平成27年6月1日、同年11月4日、平成28年3月19日の計3回開催した。

苦情件数については、年間通じて計7件の苦情があり、要因としてコミュニケーション不足や職種間の連携と共通認識不足から発生しており、今後の苦情に対する改善策について、委員会を通して全体で統一し支援に努める必要がある。

6. 事業推進委員会

「第6期介護保険事業計画・認知症対応型共同生活介護」の事業者を選定以降、定期的に事業推進委員会を法人の意向と意見集約のため開催した。選定事業者説明会の報告から建設業者の入札等事業計画スケジュールに沿って事業推進委員会で連携を図ったことにより事業計画どおり進めることが出来た。

7. 人材確保・継続雇用について

人材確保の具体的手段として、合同就職説明会への参加、ハローワーク・介護人材センターの求人での継続的募集、福祉系の学校訪問、介護労働安定センターの求人募集等実習生の受入を積極的に実施。また無資格の人材でも積極的に雇用、既存職員の正規職員への転換や昇給、資格支援等により退職者が減少する等、最大限の雇用努力を行い、既存施設については安定した人材確保につながった。介護業界全体の課題となっているが、特に常勤介護職員の確保は困難を極めていることから、新規事業の人材確保、既存施設の体制強化のためにも更なる雇用努力が求められている。

8. 職員の資格取得について

平成27年度は、新たに介護福祉士5名、初任者研修修了者1名、認知症対応型サービス事業開設者研修修了者1名、同管理者研修修了者2名、同実践者研修修了者1名が資格を取得した。

9. 介護職員処遇改善交付金

- (1) 平成27年も引続き介護職員の処遇改善を目的とし岩手県に処遇改善計画を申請、承諾を得て実施し併せて盛岡市へ処遇改善体制加算を申請し、受理された。
- (2) 賃金改善期間内の賃金改善額については、処遇改善交付金の受給総額を上回る額を介護職員全員に支給し賃金改善を行った。

10. 福祉サービス第三者評価の受審について

平成26年10月17日に評価機関である岩手県社会福祉協議会の福祉サービス第三者評価を受審した結果を踏まえ、第三者評価委員会を設置し改善に向けて対応策を講じて全職員がサービスの質の向上を目指し既に着手している。継続受審の予定であるが、受審時期については現在評価機関と協議中である。

<特別養護老人ホームさくらぎの里、短期入所生活介護事業所の運営>

1. 施設整備の状況

(1) 修繕について

平成27年度は前年度に続き経年による厨房機器の劣化が進み、厨房機器の修理のほか、スチームコンベクション等を代替購入した。また、コピー機の故障が多発し特養及び居宅事業所の計3台を台替購入、業務用衣類乾燥機のほか、汚物用洗濯機を2台購入した。

(2) その他

施設の給湯機器が以前より故障が多発しており、業務に支障を来たしていることから、現在給湯機器の交換を検討中である。

※整備状況の詳細については、【別紙3】の一覧表のとおり

2. 総合防災訓練の実施状況

実施月	想定内容	訓練内容	参加者
6月	日中想定	総合訓練 (消火・通報・避難誘導・消火器使用方法・屋内消火栓・避難はしご)	職員 18名 近隣協力者 3名 利用者 8名
12月	夜間想定	総合訓練 (消火・通報・避難誘導・消火器使用方法・屋内消火栓)	職員 21名 利用者 4名

3. 広報委員会

- (1) 広報「さくらぎだより」は、前年度の発行状況が1号のみであったことから、年度初めに委員会にて年間で四半期毎に発行部数4部を目標としたものの、3部の発行部数に留まった。しかしながら施設行事等の詳細については定期的に掲載することが出来た。
- (2) ホームページについては、前年度の反省も踏まえ、行事の開催の都度更新した。ホームページの内容を見て問い合わせをする方も増えたことから、今後はホームページのリニューアルを検討して参りたい。

4. 安全委員会（医療的ケア委員会）の活動

- (1) 毎月1回月末週に定例的に開催し、翌月初のリーダー会議で報告すると共に問題提起し改善を図っている。また毎月の回診時に合わせ経過報告を行った。

- (2) 事故・ヒヤリハット報告

利用者の重度化傾向進む中、職員体制を強化し、平成27年度の事故・ヒヤリハット件数は100件（前年度137件）と37件の減少となったものの、依然として利用者様の安全面には課題が残ることから、安全委員会の役割を再度見直し、施設全体で事故予防に向けたリスクマネジメント、職員の育成に取り組む必要がある。

感染症については、11月～3月までを感染症対策強化月間とし、施設全体で日々の予防に努めたことでインフルエンザ、ノロウイルス等の発生はなく、平成27年度を終えることが出来た。

※平成27年度事故・ヒヤリハット報告の発生件数等の詳細は【別紙4】を参照。

5. 研修委員会の活動（介護サービスの質の向上を重視）

平成27年度は、高齢者権利擁護推進員養成研修会のほか、リスクマネジメント研修会等の研修会に積極的に参加させ職員の資質向上を図った。その他、グループホームの開所に伴い、認知症介護サービス事業所開設者・管理者・実践者研修にも参加した。

また、当施設の主任看護師が、中央ブロック高齢者福祉協議会看護部会の委員長として研究会の全般に携わった。

※施設内外研修の詳細については次のとおり。

〈施設内研修実施状況〉

開催日時	研修内容		講師
27.9.30	リスクマネジメントについて	リスクマネジメント研修会に参加したユニット介護リーダーが講師となり、リスクマネジメントの基本的な考え方や高齢者虐待防止、施設内での取り組みのポイント等について全職員に説明し理解を深めた。	大堂 公晋 (ユニットリーダー)

	実習生の受入について	実習生指導担当者が講師となり、実習生の受入に対する理解と受入準備、介護現場における現状を理解させるための考え方や体制について説明した。	久保 誠 (実習指導担当者)
27.10.7	ユニットリーダー研修報告	当該研修を受講したユニットリーダーが講師となり、ユニットケアに対する考え方等研修会の内容説明と併せ、報告会を実施。	早坂 真衣 (ユニットリーダー)
27.11.17	・感染症対策 ・酸素療法の意義と使用方法 ・経管栄養の器具使用方法 ・ポジショニング	感染予防強化月間として28年3月まで発生0件を目標とし感染症対策について研修会を実施。予防策、発生時の対応、廃棄方法等マニュアルに則って説明。また、新人職員も含めた研修として酸素療法の意義や使用方法、経管栄養の器具の取扱い、利用者様の安楽な枕の当て方等を実演で行った。	藤田 ミ子 (看護主任)
27.12.3	アンガーマネジメント	メンタルヘルスケアの一環として、日本アンガーマネジメント協会の高橋昭三氏を講師に招き、「短期は損気、クールでホットな介護」と題し研修会を開催。日頃のストレスによる「怒り」で失うものが大きいため、怒りを静めるスキル等即試せる内容であり全職員が関心の高い研修会となった。	高橋 昭三 (日本アンガーマネジメント協会)
27.12.7 ～12.11	感染症対策	ノロウィルスの感染対策として嘔吐物処理を実演し予防対策を全職員に徹底。	介護員 看護師
28.2.24	認知症の理解を深める。	認知症介護実践者研修会に参加した介護職員が講師となり、認知症高齢者の理解に基づいた生活アセスメントと支援、コミュニケーションの本質と方法等を全職員に説明した。グループワークも行い職員が意見を積極的に出し易い環境とし、認知症に対する理解をより深いものとした。	三浦 敦子 (介護支援専門員)

〈施設外研修受講状況〉

日時	主催	テーマ	職種	参加者
27.5.13	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成27年度東北ブロック老人福祉施設大会	総務課長	武藤香織
27.6.4	盛岡市保健所	平成27年度給食従事者研修会	管理栄養士	田口郁美
27.6.15	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	平成27年度「苦情を考えるセミナー～苦情を福祉サービスの質の向上にどう活かすか～」	理事長兼施設長 第三者委員	雪ノ浦昭子 露崎恵美子
27.6.23 ～7.7 9.1～4	岩手県社会福祉協議会	平成27年度岩手県介護職員等医療的ケア研修(第二号研修)	介護員	嶋野有絃 松村江利子 館石かおり
27.6.24 6.25	盛岡地区広域消防組合消防本部	平成27年度防火管理講習	経理課長	小田島敦史
27.7.14	岩手県社会福祉事業団	平成27年度福祉職員キャリアパス対応生涯研	介護員	館石かおり

7.15		修課程(初任者編)		
27.7.15	岩手県社会福祉協議会社会福祉経営者協議会	平成 27 年度社会福祉法人経営セミナー	理事長兼施設長	雪ノ浦昭子
27.7.23 7.24	岩手県社会福祉事業団	平成 27 年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者編)	介護員	佐々木要祐
27.7.27	公益財団法人いきいき岩手支援財団	岩手県認知症介護サービス事業所開設者研修	理事長兼施設長	雪ノ浦昭子
27.7.29 7.30	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 27 年度中央ブロック高齢者福祉協議会臨時総会並びに施設長研修会	理事長兼施設長	雪ノ浦昭子
27.8.10	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 27 年度職員研究会顧問施設長・正副委員長会議	理事長兼施設長 看護主任	雪ノ浦昭子 藤田ミ子
27.8.28	岩手県地域生活定着支援センター	触法障がい者・高齢者支援及び機関連携に関する研修会	総務課長	武藤香織
27.9.3 9.4	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成 27 年度東北ブロック老人福祉施設研究会	理事長兼施設長	雪ノ浦昭子
27.9.15 9.16	岩手県立大学	平成 27 年度社会福祉研修【特定課題研修】相談支援(ネットワークの作り方)	生活相談員	坂本真紗美
27.9.24	NPO法人いわての保健福祉支援研究会	平成 27 年度第 1 回感染症及び食中毒予防対策に関する研修会	管理栄養士 看護師	田口郁美 佐々木多美子
27.9.28 9.29	岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会	平成 27 年度岩手県高齢者福祉研究会	総務課長	武藤香織
27.9.29	岩手県社会福祉事業団	虐待防止研修会	介護支援専門員 介護員	鈴木郁子 大畑英弘
27.10.7	盛岡市	盛岡市「ワーク・ライフ・バランス推進トップセミナー」	理事長兼施設長	雪ノ浦昭子
27.10.7	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 27 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 1 回給食研究会	調理師	久慈 渚 平松久恵
27.10.15 10.16	岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会	平成 27 年度スポーツ交流・意見交換研修会	総務課長 介護員	武藤香織 阿部孝也 久保 誠
27.10.26	盛岡市保健所	平成 27 年度感染症集団発生予防研修会	看護師	吉岡裕子
27.10.27 10.28	いきいき岩手支援財団	岩手県認知症介護サービス事業所管理者研修	介護員	小林日和
27.10.28	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 27 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 1 回介護部会研究会	介護員	阿部孝也 大堂公晋
27.11.6	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 27 年度中央ブロック高齢者福祉協議会第 1 回生活相談員研究会	生活相談員	坂本真紗美
27.11.10	盛岡市	平成 27 年度第 2 回認定調査員新規研修	介護支援専門員	三浦教子
27.11.17	岩手県社会福祉協議会	福祉施設のためのリスクマネジメント講座	介護員	早坂真衣

27.12.10 12.11	東北ブロック老人福祉施設協議会	平成 27 年度東北ブロックカンントリーミーティング(i n 福島)	総務課長 介護員	武藤香織 大堂公晋 大畑英弘
27.12.11	岩手県社会福祉協議会社会福祉経営者協議会	平成 27 年度社会福祉法人経営者協議会講演会	理事長兼施設長	雪ノ浦昭子
28.1.18 1.22	全国老人福祉施設協議会	平成 27 年度認知症介護実践者研修	介護支援専門員	三浦敦子
28.1.21 1.22	中央ブロック高齢者福祉協議会	第 31 回中央ブロック高齢者福祉協議会職員研究会	理事長兼施設長 総務課長 看護主任 看護師 生活相談員 介護員	雪ノ浦昭子 武藤香織 藤田ミ子 三上真一 坂本真紗美 嶋野有絃 久保田祐司 中田信孝
28.1.25	岩手県福祉サービス運営適正化委員会苦情解決小委員会	盛岡地域福祉サービス苦情解決情報交換会(基礎研修/高齢者・障がい者分野)	第三者委員	露崎恵美子
28.1.27	岩手県経営品質協議会	C S 経営先進事例研究会	総務課長	武藤香織
28.2.1	盛岡市保健所	平成 27 年度地域・給食施設等栄養管理担当者研修会	管理栄養士	田口郁美
28.2.5	岩手労働基準協会	労務担当者実務研修会	経理課長	小田島敦史
28.2.5	岩手県保健福祉部	平成 27 年度災害福祉地域研修会	総務課長	武藤香織
28.2.7 2.8	いきいき岩手支援財団	岩手県認知症介護サービス事業所管理者研修	事務員	石川哲弥
28.2.10	岩手県社会福祉協議会	平成 27 年度介護人材確保・育成に係る懇談会	経理課長	小田島敦史
28.2.25	中央ブロック高齢者福祉協議会	平成 27 年度中央ブロック高齢者福祉協議会総会並びに施設長研修会	理事長兼施設長	雪ノ浦昭子
28.2.26	いきいき岩手支援財団	平成 27 年度岩手県認知症セミナー	介護支援専門員 機能訓練指導員	三浦敦子 菊池真美子
28.2.29	岩手県保健福祉部長寿社会懇	平成 27 年度高齢者権利擁護看護実務者研修会	看護師	三上真一
28.3.1	盛岡市保健所	平成 27 年度高齢者施設調理師等研修会	調理師	斉藤喜寿 岩場久美子
28.3.8	岩手県社会福祉協議会社会福祉経営者協議会	平成 27 年度社会福祉法人経営者協議会総会・改革セミナー	理事長兼施設長	雪ノ浦昭子

6. 実習生の受入状況

種別	学校名	人数	期間
初任者研修	盛岡医療福祉専門学校	4名	7/13～7/17
看護・介護体験実習	岩手医科大学 医学部・歯学部	4名	10/5～10/9
		4名	10/13～10/16
介護実習	北日本医療福祉専門学校	2名	11/5～11/27
介護職員実務者研修	介護労働安定センター	2名	10/23、11/4・10
		3名	10/23・27・28
		2名	28/1/26～28 2/2・3・8・9
施設見学	介護労働安定センター	10名	9/3

7. ボランティア・福祉体験受入れ・行事等の状況

(1) 受入れ状況

唄や踊り等の定期的なボランティアの受入れ、地域の中学生の職場体験学習等により、地域交流を持つことができ社会参加の機会となり、利用者だけでなく家族からも喜ばれた。また、外出として、四十四田公園や高松の池の桜を観覧、ショッピングセンターにも出掛け、買い物や外食を楽しむことで更なるコミュニケーションを図った。

〈福祉体験受入状況〉

種別	学校名	人数	期間
福祉体験学習	岩手県立青松支援学校	3名	7月3日
福祉体験学習	北松園中学校	12名	7月9日
福祉体験学習	松園中学校	15名	10月28日

(2) 施設行事・ユニット行事実施状況

【別紙5】のとおり

8. 利用者家族交流会の開催

平成28年3月に、18世帯（総勢35名）の家族に参加の下、当厨房の手作りバイキングの昼食をとりながら、職員とコミュニケーションを図り、日頃感じている事や施設に対する要望について直接ご意見を頂き、盛会裡に終了した。

皆様からいただいた要望やご意見を取り纏め、職員全員に周知し、より良い介護サービスを提供出来るよう改善に向けて今後も取組んでいく。

9. 生活介護係

(1) 個別ケア

利用者個々の状態把握に努め、各職種とも情報共有しながら連携を図り、より良いサービスを提供できるよう創意工夫を行った。また、利用者の日常生活においては、寝たきりにならないよう、離床時間を適宜行い、職員との触れ合いも大切にしながら信頼関係の構築に努めた。

(2) 認知症ケアの確立

日常においては、利用者の個々の思いを知るために職員間との情報交換や、ご家族の方へ相談し協力を得ながら、利用者が快適に暮らせるよう支援した。

施設内研修では事例を取り上げ、グループワークを中心とした研修にし、職員個々の意見交換を行うことで、認知症についての理解をより深め、柔軟な対応をする上での大きなヒントとなった。

(3) 行事・外出・趣味活動について

季節に合わせて外の景色を楽しんだり、旬のものを食しユニット行事を通して、利用者と職員との楽しい時間を過ごすことが出来た。また、個々の趣向を取り入れ、外部講師によるクラブ活動を充実させた。

10. 医務室

(1) 利用者の健康管理、体調不良時の迅速、的確な対応を行うことについて

- ① 健康診断、入所時検査、定期採血を実施することにより、利用者の健康状態を把握し、体調不良時には早期に受診し、健康管理に努めた。
- ② 居室の温度、湿度、掛物の調整。また居室の清掃を徹底し感染症対策にも努めた。
- ③ 発熱、下痢、嘔吐、皮膚トラブル、経管栄養の滴下不良に対して受診し、内服薬点滴の指示を受け、胃ろうの交換を行って、健康の維持を努めた。
- ④ 利用者の体調や病状等を逐次ご家族に報告・説明することで信頼に努めた。

(2) 協力病院との連携

病院受診の際に、意向を伺う都度、情報提供する事で協力病院との連携に努めた。

(3) 介護職員の医学的知識の提供、指導

施設内研修の他、申し送りの際に職員に対し、利用者の状態や疾患について情報提供した。また、「事故発生時・緊急時対応マニュアル」について見直しを図った他、救命救急機器の使用方法についても施設内研修として指導を行った。

(4) 医療的ケアの研修の実施について

介護職員3名が医療的ケアの研修を受講。実地研修を実施し3名が資格取得した。

(5) 全職員に対する感染症の防止と予防の徹底について

- ① 手洗い、エプロン、マスク装着の指導
- ② ユニット、特に水回りの清潔を維持することの指導
- ③ 拡大防止の為に、統一した申し送りを実施。適正な消毒剤の使用方法を徹底
- ④ 各居室の清掃をこまめに行い、感染予防に努めた

- ⑤ 感染症マニュアルの見直しを図り、施設内研修にて全職員に周知徹底。また、感染委員の指導による介護職員の汚物処理の実演も実施。(27年12月6日～1週間)

1.1. 機能訓練

(1) 施設利用者様の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化

- ① リハビリの内容については、機能訓練指導員が各利用者様の評価を行い、ケースカンファレンスにおいて、他部署と検討を経て、担当者会議等を通して本人あるいは家族にリハビリ計画への同意を得ている。日常生活において、実施可能な活動や動作が継続・維持されるよう働きを行う生活リハビリを中心として、午前中は機能訓練指導員が個別にリハビリ希望者に対し各種リハビリを行い、午後には各ユニット及びショートステイ利用者様に対し実施した。
- ② 前年度から引き続き第三者評価の受審結果を基に、利用者の状況に応じて専門職の協力を得て、助言や指導等を取り入れながら介護予防を計画的に見直し、評価する取り組みを行っていくことで内容を随時見直し、改善に向け取組んだ。
- ③ 介護予防活動や社会参加の取組みとして、各種アクティビティ、コーラス活動、施設行事、ユニット行事、ボランティアの他、園芸活動等の行事を企画し、新たに1、2階のフロア毎に集団で運動を行うグループ体操や認知症予防・進行予防に効果があるとされるクリニカルアート（臨床美術）を導入した。

1.2. 栄養課

(1) 快適な食生活を送れるよう支援する

- ① 栄養並びに心身の状況を考慮した栄養ケアマネジメントの実施
 - 一人ひとりの身体状況、咀嚼・嚥下機能、嗜好・意向等や、多種類からの情報を基に栄養ケアマネジメントを実施し、各利用者様に合った食事の提供に努めた。
- ② 栄養面や嗜好面に考慮したメニューの作成、行事食の実施
 - ・ 給与栄養目標量に基づき献立を作成し、摂取が難しい栄養素も、味を重視して栄養強化食品を選択し、利用者様に無理なく摂取していただけるよう努めた。また、食材も旬のものを取り入れ、冬季には土鍋料理も提供し、食事からも季節が感じられるよう取り組んだ。
 - ・ 管理栄養士のみならず、調理員もユニットを回り、利用者の意見を聴取した上で巡視記録は給食会議の参考資料とし改善につなげることが出来た。
 - ・ 食塩量については、出汁わり醤油の使用、味噌汁・漬物の調整、麺類や変わりご飯の頻度の調整、盛り付けの統一で年間平均では目標の7g未満を達成見込みである。また、職員の意識向上につながるよう調理員からも減塩メニューを募集し献立に取り入れた。
 - ・ 刻み食、ゼリー食の利用者への対応は、盛り付け時に見た目を普通食に近づける工夫をし、調理法も食材によっては刻まずに提供できる方法を検討した。

(2) 行事食やセレクトおやつの実施

敬老会の松花堂弁当、クリスマスケーキ、大晦日の松花堂弁当、年越しそばの他、祝日に合わせた行事食、三寿司やちゃんこ太五郎による専門店の味等、普段とは異なった雰囲気での食事を楽しんでいただけるよう取り組み、利用者や家族、職員にも好評であった。また、セレクトおやつも定期的に行った。

(3) 食中毒や感染症の発生防止

① 日常的な注意喚起と衛生管理、予防の徹底。

- ・日頃から食材・器具・調理場の衛生管理を徹底し、インフルエンザやノロウイルス流行時には消毒等により一層強化し、安全な食事の提供に努めた。
- ・食事提供の際に利用する食器関係について、衛生面と使い易さを考慮し前年度新調した食器以外の麺類用食器を新たに導入した。

【行事食の実施状況】

年	月	食事の内容	
27	5	こどもの日(昼食:あなごちらし、おやつ:こいのぼり和菓子)	
	7	七夕(昼食:七夕そうめん、おやつ:天の川和菓子)	
		夏祭り(昼食屋台メニュー:カレーライス、たこ焼き)	
28	9	土用丑の日(昼食:お好みひつまぶし)	
		敬老会(昼食:松花堂弁当、おやつ:紅白饅頭)	
	11	十五夜(昼食:目玉焼きをお月様に見立てたロコモコ、おやつ:三色団子)	
		寿司の日(昼食:三寿司慰問・にぎり寿司)	
	12	介護フェア(おやつ:喫茶メニュー)	
		クリスマス会(おやつ:クリスマスケーキ)	
		クリスマスイヴ(昼食:クリスマスプレート、おやつ:クリスマス和菓子)	
		クリスマス(おやつ:白石食品工業からの寄贈によるクリスマスケーキ)	
	28	1	大晦日(夕食:松花堂弁当・年越しそば)
			正月料理
七草粥(昼食)			
成人の日(昼食:海鮮丼)			
2		鍋料理(昼食:酒かす鍋)	
		節分(昼食:太巻き・手まり寿司、おやつ:節分和菓子)	
3		鍋料理(昼食:サンラータン鍋)	
		ひな祭り(昼食:ちらし寿司、おやつ:あられ・甘酒)	
		ちゃんこ巡業(昼食:ちゃんこ太五郎慰問)	

13. 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

(1) 施設部門

〈問題解決に向けた取組み〉

課 題	経営計画推進体制の確立		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中期経営計画が日常的に意識できるよう、毎月のリーダー会議・職員会議にて資料として配布し、職員への意識付けを行う。 ・中期経営計画の振り返り、進捗状況の確認をリーダー会議等で発表し職員に把握させるとともに職員の意見を集約し改善・向上につなげていく。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実 績	目標対比
リーダー会議・職員会議での進捗状況の確認回数	四半期毎	中間期・期末の計2回の実施	職員への計画実行の意識付けがなかなか浸透せず出足が遅れ、9月と3月の2回に留まった。

課 題	利用者・家族の満足度と接遇マナーの向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇マナー研修会の実施、自己チェックによる振り返り、ケースに応じた職員への個別指導の徹底により、接遇マナーを向上させる。 ・利用者の尊厳を重視したサービスが浸透するよう、権利擁護に関する研修会を実施する。 ・利用者、家族及びボランティアに満足度に関するアンケートを実施、また、継続して第三者委員による聞き取り調査を実施し、その結果を踏まえ、要因分析と改善策を全職員に徹底することで満足度の向上に取り組む。 ・利用者家族に対して、カンファレンス・面会時の際に、要望や意向を聞き取る。 ・広報「さくらぎだより」を定期発行し、家族懇談会や制度改正説明会を通して、積極的な情報提供と意見交換を行い、家族とのつながりを強化することで家族が相談しやすい体制を構築する。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実 績	目標対比
利用者・家族・ボランティアへのアンケート実施回数	年1回	1回実施	2月開催の家族交流会にてアンケート実施。
上記アンケート結果による満足度	60%	83%	上記実施のアンケート結果では83%のご利用者家族の満足度となった。要望・ご意見について真摯に受け止め改善に向けて取り組んでいく。

課 題	地域に根ざした施設運営の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町内会等地域住民に対して、介護福祉に関する教室、講演会等を開催し地域貢献につなげる。 ・地域のお祭り等の行事に参加し、積極的に交流を図る。 ・施設行事に地域住民の参加を勧める。 ・災害時や高齢者の捜索等緊急時にも積極的に協力する。 ・岩手県社会福祉協議会ボランティア（市民活動センター）を通じ、ニーズにあった新規ボランティアの確保を行う。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実 績	目標対比
地域住民向けの介護教室・講演会の開催実施	1回	0回	平成27年度は松園2丁目町内会の皆様に講演会を企画したが日程調整出来ず来年度以降に再検討となった。
ボランティアの積極的受入	3回	23回	介護ボランティアは5回、その他ギター研究会等18回のボランティアを積極的に受入した。

課 題	施設機能の地域への開放		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉ニーズ調査を行い、実施可能なことから優先して取組む。 ・行政等のボランティア関係機関の活動団体を積極的に活用し地域とのつながりを大切にする。 ・第三者委員会等から施設への提言を頂く。 ・ボランティア、町内会、自治会等地域の方々に施設活動への参加を呼びかける企画の立案。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実 施	目標対比
地域の福祉ニーズの調査及び取組み	調査実施	住民説明会及び映画上映会等の実施	グループホームの開所に伴う住民説明会にてアンケート調査を実施しニーズを掘起し、また地域住民の方を招き映画上映会を実施。その他ボランティアを積極的に受入れした。

課 題	職員研修の充実と専門性の向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に定期的に施設内研修を実施し、勤務体制の状況によっては時間外での開催も検討する。 ・引き続き外部研修に積極的に派遣し、復命研修や他職員に対してOJTを行い、日常業務の中で実践していく。また、OJTでの指導を活性化させ、共に気付きを向上させる取組みを行っていく。 ・施設内研修に、外部講師も積極的に招聘する。 ・職員の資格取得を奨励し、積極的に情報提供を行っていく。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実績	目標対比
施設内研修の開催回数	5回	6回	委員会が主体となり、外部講師を含めた研修会を計6回実施し達成
施設内研修への職員参加率	90%	95%	職員のシフトに併せ開催し参加率向上し達成
職員の資格取得率(専門職員数に対する介護支援専門員・介護福祉士の取得割合)	40%	45%	27年度は介護福祉士に5名合格により取得率45%に向上し達成

課 題	会議、委員会の活性化と職員間の連携強化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会については、今まで毎月初のリーダー会議と併せて開催していたが、今後は内容の充実化と効率化を図るため、各種委員会の開催は毎月末週に開催し、翌月のリーダー会議で内容報告と意見集約を行うこととする。その後、職員会議で議事録等資料を各部署及びユニットに配布するとともに、申し送りでも徹底し浸透させる。 ・事前の資料作成と配布により、会議時間を短縮し、業務に支障を来たさぬよう、効率的に実施する。 ・会議、委員会開催開始時間の徹底と終了時間を明確にする。 ・職員間の連携強化については、部署毎、ユニット会議を定期的で開催し情報の共有化を図る。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実績	目標対比
部署毎、ユニット会議の開催回数	2ヶ月毎	3ヶ月(平均)	ユニット毎で開催回数が不定期であったため未達となった。次年度より隔月前半の開催に統一する。

課 題	権利擁護の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止、虐待防止について、委員会の活性化を図り、個々のケア場面について検証し、虐待防止と利用者の人権や安全に配慮したケアの改善に取り組む。 ・権利擁護及び高齢者虐待防止等について研修会を通じ、職員一人ひとりが関心を持ち、正しい知識を身に付けることで、尊厳の保持及び利用者本位のケアに向けて介護力、看護力を高める。 ・成年後見制度の家族等への理解を深める取組みを行う。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実績	目標対比
身体拘束廃止・虐待防止に向けた研修実施	1回	1回	9月に研修受講した介護員が講師となり本テーマにて施設内研修を実施。
権利擁護研修への派遣	1名	1名	9月、11月、2月に権利擁護に関する外部研修に4名が受講。

課 題	情報開示・情報提供の充実		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・広報「さくらぎだより」については、利用者家族等の知りたい情報が発信できるよう、掲載内容を充実させる。 ・施設選定の参考となるべく、ホームページの掲載内容を検討・精査し、定期的な更新を行う。 ・施設パンフレットについても、居宅介護支援事業所と併せて、見やすく・わかりやすく・選定につながるパンフレットにリニューアルするよう検討し、早期に実施する。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実績	前期比
「さくらぎだより」の定期発行	年4回	年3回	四半期毎の発行目標も3部に留まり未達。
ホームページの充実	掲載内容の検討・精査	介護保険制度の改正や行事等開催の都度更新	定期的に更新したものの、更に内容充実を図るため、グループホーム開所に併せリニューアルを検討する。

課 題	感染症対策の充実及び徹底		
取組方針	・感染委員会が主体となり、関連マニュアルの見直しと周知を行い、感染症予防対策や緊急時への備えを講ずる。		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実績	目標対比
感染症予防マニュアルの見直し	随時	期初に見直し再作成済	目標達成。今後も随時見直しを図る。
感染症予防研修の実施	6回	施設内研修でマニュアルに沿って実施。その後汚物処理方法等実演を一週間実施	研修と各部署に備え付けし全職員に周知徹底。目標達成。

課 題	計画的な修繕		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕整備する必要がある設備機器等について調査の上、整理し優先順位をつけ、計画的な修繕を行う。 ・設備機器の正しい使用方法を再確認し、異常の早期発見と報告を徹底するため、取扱マニュアルと修繕管理簿を作成する。 ・利用者の行為、又は職員の誤操作等による突発的な修繕については、発生要因の検証と再発防止の検討を徹底し、突発的修繕を抑制する。 		
目標項目	平成27年度目標値		
	目標値	実績	目標対比
設備機器の正しい使用方法の再確認、異常の早期発見と報告の徹底。	故障発生報告書及び管理簿の作成	故障発生報告は都度伺書により報告。管理簿作成までは至らず。	目標未達。管理簿については今後の管理方法等も併せ修繕計画書と共に再検討予定。
突発的修繕の抑制 (上記理由による修繕費、現状約100万円)	修繕計画表の作成 現状より5%削減	計画策定済み。 平成27年度の設備機器関係の修繕費合計額2,013千円	経年劣化による修繕が予想される設備機器は計画立てたが予想を上回る故障等増加し目標対比201%と未達となった。再度見直し予定。

課 題	諸規程の遵守		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員研修では、先ず就業規則等身近なところから始め、一度きりの説明とせず、その後は既存の職員と同様に、職員会議やスポット研修により、項目を絞って説明し、全職員が理解できるようにする。 ・諸規程等の内容については、制度改正に伴う見直し改正の他、施設の実情と現状に沿った内容に随時見直ししていくこととする。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実 績	目標対比
新人職員研修での説明実施	年1回	新人職員には入社時に就業規則を始め諸規程関係について説明し徹底。	目標達成。就業規則及び諸規程については改正の都度、説明会を実施していく。
職員会議又はスポット研修での説明	年2回	6月の会議にて全職員に対し決算及び事業報告を行った際に併せて就業規則と諸規程について改めて説明。	同上。

課 題	利用者の安全管理の徹底		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防、急変時のマニュアルを見直しの上、再作成し、感染予防、事故対策に努める。 ・協力病院や他職種と連携を図り、利用者の状態を把握し、体調不良を早期発見し、迅速な対応を行い、重症化を防止する。 ・職員へ施設内研修等により、医学的知識を提供し、利用者の体調不良等の異常について早期に発見する。 ・「医療的ケア」に参加することで、介護職員が技術・知識を習得し、利用者の安全を確保する。 ・利用者家族と情報を共有・提供し、利用者の健康を維持し信頼関係を構築する。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実 績	目標対比
施設内研修の実施・マニュアルの作成	内容検討 作成	期初にマニュアルを再作成し施設内研修で全職員に徹底。	目標達成。今後も内容について随時見直し充実を図る。

「医療的ケア」研修の参加	職員参加	27年度は3名の介護員を受講させ資格を取得	目標達成。今後も質の向上目指し積極的に介護員を受講させていく。
--------------	------	-----------------------	---------------------------------

課 題	快適な食生活を送れるよう支援する		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養並びに心身の状況を考慮した栄養マネジメントの実施。 ・栄養ケア計画に基づき、栄養面、嗜好面、季節感を考慮したメニューを作成する。また、日々可能な限りユニットを回り、利用者より食事に対する意見を聴取の上、記録し改善につなげる。 ・食事摂取基準改正後の食塩量に抑制するため、盛付器具の統一と献立の見直し、盛付等によるバラつきをなくする。 ・刻み食、ゼリー食については、利用者の意見の他、介護職員の意見も取り込みながら盛付等を工夫する。(行事食や楽しみとしての取組みについても同様に実施) ・食中毒や感染症予防については、職員の意識レベルを向上させるため、日常的な注意喚起と衛生管理を徹底。 ・栄養ケア計画含む利用者情報及び報告について、組織配置に則って改めてルール作りし情報共有化を徹底する。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実績	目標対比
食事の減塩対策（1日あたり7g未満）	盛付器具の統一・献立の見直し	減塩対策及び衛生面からも新たに食器を購入し1日あたり7g未満に抑えることが出来た。	目標達成。今後も維持管理を徹底。
情報共有・記録簿に関するルール作り	ルール策定・実施	カンファレンスと申し送りにて情報共有することをルール化し記録簿についても見直しを図った。	目標達成。今後も各部署との連携強化し情報の共有化を図る。

課 題	施設利用者の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別実施計画に基づいた機能訓練の実施と定期的な評価と見直し ・カンファレンスや実施プラン等利用者情報及び報告について、組織配置に則って改めてルール作りし情報共有化を徹底する。 ・他職種の協力を得ることで介護予防活動の強化を図る。(季節を感じる行事、さくらぎコーラス、健康講座、栄養教室等) 定期的な評価と見直しを実施。 ・現状の機能訓練実施体制を見直すことで、利用者満足度の高い機能訓練、介護予防活動を提供していく。 		
目標項目	平成27年度		
	目標値	実 績	目標対比
<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練実施プラン ・介護予防活動 	定期的な評価と見直し実施	3ヶ月毎	第三者評価での指導を踏まえ期初に機能訓練実施計画と介護予防活動計画に分別し新たに策定。評価は3ヶ月毎に実施。評価及び見直しの実施により目標達成。今後も随時見直し検討予定。
<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練実施プラン ・介護予防活動 	実施・参加回数	1ヶ月 1回以上	機能訓練実施については個別に定期的実施、介護予防活動は全体またはグループで平均2回以上実施。機能訓練及び介護予防活動は利用者のニーズも把握し実施し目標達成。

課 題	利用稼働率の維持・向上				
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラグの少ない施設入所を行うため、入所判定委員会で入所順位を決定しているが、入所の段階で断られるケースもあるため、申込待機者リストの更新を常に行い、待機者の動向調査を行う等管理を更に強化する。 ・感染症対策と事故防止の徹底、特に冬場のインフルエンザ等感染症は、利用稼働率に大きく影響するため、引続き職員に対する予防接種や感染予防対策に関する知識の周知に取り組む。 ・長期入院者については、家族・協力病院と連携し、空床期間をできる限り短縮する。また、入院中の空床ベッドを有効利用し、短期入所の利用率アップにつなげる。 ・生活相談員と居宅介護事業所との連携を密にし、空床を埋めるとともに継続利用につなげる。 				
指 標 (稼働率)	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実 績	実 績	目標値	実 績	前期比
施設入所	98.8%	96.2%	98%	99%	ショートからの入所増加し空床率改善し目標達成。

(2) 短期入所生活介護事業所計画
 (利用稼働率の向上)

指 標 (稼働率)	平成 25 年度 実 績	平成 26 年度 実 績	平成 27 年度		
			目標値	実 績	前期比
短期入所	68.8%	77.5%	85%	72.5%	長期への切替、定期利用者の入院等により空床率増加し未達となる。今後各事業所等への利用促進を推進していく。

〈さくらぎの里居宅介護支援事業所〉

地域連携の強化・要介護者への支援を目標とした。

実施報告

1. 利用者や家族からの相談に対し、訪問、電話、来所等、様々な方法により対応を図った。
利用者や家族の依頼により、要介護認定申請手続き業務を代行する等、利用者の便宜を図った。利用者や家族に対し、適切な意思決定ができるよう介護保険及び、各サービス事業所や医療機関に関する情報提供に努めた。
2. 認知症高齢者への支援のため、地域での研修へ参加し、専門知識の習熟に努めるとともに利用者・家族・医療機関・サービス事業所との連携を密にし、利用者本人に最も適切なサービスの提供を行い、継続的に支援を行った。
3. 十分なアセスメントを行い、利用者と家族の意向に基づいたケアプラン作成を行いながら、生活における問題点の改善が図れたかどうかのモニタリングを行った。
4. 前年度に続き利用者数減少の挽回策として、居宅支援事業所のパンフレットや広報を地域や事業所等へ配布する等営業強化に努め、新規先の確保につながったが、契約終了者増加により前年度を下回る実績となった。
5. 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価
(利用稼働率の向上)

指 標 (稼働率)	平成 25 年度 実 績	平成 26 年度 実 績	平成 2 7 年度		
			目標値	実 績	前期比
居宅介護計 画作成件数 (平 均)	29 件	26 件	35 件	24.3 件	新規件数確保するも長期入院、他施設への入所による契約解除件数増加し大幅に未達となった。今後地域包括センターや各事業所との連携強化し新規先契約件数確保に注力する。

【別紙1】

利用者状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日 稼働日数365日)

(1) 入所(特別養護老人ホーム さくらぎの里) 定員50名

各項目		平成26年度(A)	平成27年度(B)	年度対比(B-A)
①	年間平均利用者数	48.4人	50.5人	+2.1人
②	年間延利用者数	17,653人	18,493人	+840人
③	新規入所者数	24人	20人	▲4人
④	退所者数	26人	16人	▲10人
年間平均利用率(%)		94.9%	99.0%	▲4.1%
男	男性			
	① 年間平均利用者数	4.5人	4.6人	+0.1人
女	② 年間延利用者数	1,659人	1,675人	+16人
	③ 新規入所者数	3人	3人	—
割	④ 退所者数	5人	2人	▲3人
	女性			
合	① 年間平均利用者数	43.9人	46.0人	+2.1人
	② 年間延利用者数	15,994人	16,818人	+824人
	③ 新規入所者数	21人	20人	▲1人
	④ 退所者数	21人	14人	▲7人

(2) 短期入所(さくらぎの里短期入所生活介護事業所) 定員12名

各項目		平成26年度(A)	平成27年度(B)	年度対比(B-A)
①	年間平均利用者数	10.7人	8.7人	▲2人
②	年間延利用者数	3,892人	3,180人	▲712人
③	新規入所者数	239人	212人	▲27人
④	退所者数	235人	215人	▲20人
年間平均利用率(%)		89.2%	72.5%	▲16.7%
男	男性			
	① 年間平均利用者数	2.1人	1.5人	▲0.6人
女	② 年間延利用者数	779人	545人	▲234人
	③ 新規入所者数	33人	12人	▲21人
割	④ 退所者数	31人	13人	▲18人
	女性			
合	① 年間平均利用者数	8.6人	7.2人	▲1.4人
	② 年間延利用者数	3,113人	2,635人	▲478人
	③ 新規入所者数	206人	200人	▲6人
	④ 退所者数	204人	202人	▲2人

(3) 居宅事業所(さくらぎの里居宅介護支援事業所)

各項目	平成26年度(A)	平成27年度(B)	年度対比(B-A)
請求実数 (月平均請求実数)	351件 (29.3件)	291件 (24.3件)	▲60件 (▲5件)
居宅介護支援費	4,282,440円	3,400,620円	▲881,820円

【別紙 2-①】

社会福祉法人河北会 平成27年度決算財務諸表分析表

	指標	視点	平成26年度	平成27年度	前年対比		分析結果
					差異	改善 後退	
事業活動 計算書(P L)からの 指標	サービス活動収 益(円)	収益状況を 見る指標	299,785,578	301,752,740	1,967,162	↑	施設入所部門は短期利用者の長期 入所への切替等により利用者増加し 前年比+0.6%増加、短期入所部門 では利用者の入院等空床の増加に より前年比▲19.8%、居宅部門では利 用者入院・他施設入所により▲ 22.9%、総体では前年比+0.7%と若 干の増収。
	当期活動増減 差額(円)	収支状況を 見る指標	43,743,681	85,485,560	41,741,879	↑	サービス活動増減差額は前年比▲ 29.2%と開所予定のグループホーム の先行採用による人員増で人件 費増加し減益。増減要因として東北 電力の補償料12百万円とグループ ホームの補助金収益43百万円の事 業外収入により増益となった。
	次期繰越活動 増減差額(円)	収支状況を 見る指標	223,366,989	275,869,295	52,502,306	↑	上記理由による一時的な増益。
	サービス活動収 益対運営資金 借入金比率 (%)	借入割合を 見る指標	8.0	9.0	1.0	↓	グループホームのつなぎ借入金62百 万円調達により、借入金増加。
	労働分配率 (%)	コスト合理 性を見る指 標	75.0	95.2	20.2	↓	増収となるもグループホームの人員 先行採用により人件費増加し前期比 20%と一時的に後退。
	人件費比率 (%)	コスト合理 性を見る指 標	56.2	61.1	4.9	↓	グループホームの先行採用による人 員増及び昇給、正規職員への登用 により人件費増加し前期比4.9%と後 退。
	委託費比率 (%)	コスト合理 性を見る指 標	2.5	2.7	0.2	↓	今年度は定期的な清掃関係の他、 特殊建物調査等もあり、若干委託費 増加し前期比0.2%と後退。
	経常増減差額 率(%)	収益性を見 る指標	14.6	13.9	▲ 0.7	↓	東北電力の補償料収入12百万円が あり前期比ほぼ横ばいとなるも、人 件費増により実質事業活動収益は 減益となった。
資金収支 計算書(C F)からの 指標	事業活動資金 収支差額(円)	収支状況を 見る指標	63,135,221	67,973,120	4,837,899	↑	上記同様、事業外収入(補償料12百 万円)があったため4百万円の増加と なるも実質減益。
	当期末支払資 金残高(円)	短期安定性 を見る指標	191,302,308	215,560,167	24,257,859	↑	グループホームの補助金(43百万 円)、積立金取崩(48百万円)の一時的 な収入により増加。以上を除いても 資金繰りに問題ない。
貸借対照 表(BS)か らの指標	流動比率(%)	短期安定性 を見る指標	464.5	252.6	-211.9	↑	開所予定のグループホームのつなぎ 借入金(短期借入金62百万円)増加 によるもので一時的に後退するもの の、資金繰上懸念ない。
	純資産比率 (%)	長期安定性 を見る指標	73.4	72.3	-1.1	↓	上記同様グループホームの借入金 増加により若干後退となるものの、 長期安定性に問題ない。
	固定長期適合 率(%)	長期安定性 を見る指標	82.1	72.6	▲ 9.5	↑	グループホームの一部建設資金の 調達をつなぎとして短期借入金にて 調達したため、比率は改善されてい るものの、実質は前期とほぼ横ばい であった。

社会福祉法人河北会 事業活動実績

(平成26年度対比及び平成27年度予想対比)

(単位:千円・%)

区分・項目 \ 年度	25年度実績	26年度実績	27年度予想	27年度実績	26年度実績 対比増減率	27年度予想 対比増減率	増加比率	増減差額	増加比率	26年度予想	増減差額	増加比率	増減差額	26年度実績 対比増減率	27年度予想 対比増減率	増加比率	増減差額	増加比率	
介護保険事業収益	296,356	299,729	298,771	301,750	2,021	0.67%	4,979	54,644	18.41%	351,415	54,644	18.41%	11,285	362,700	362,700	1.66%	11,285	18.41%	3.21%
その他の事業収益	53	55	530	2	-53	-96.38%	-528	0	0.00%	530	0	0.00%	270	800	800	-99.62%	270	0.00%	50.94%
サービス活動収益計	296,409	299,784	297,301	301,752	1,968	0.66%	4,451	54,644	18.38%	351,945	54,644	18.38%	11,555	363,500	363,500	1.50%	11,555	18.38%	3.29%
人件費	170,482	167,659	173,856	184,434	16,775	10.01%	10,578	34,622	19.91%	209,478	34,622	19.91%	9,982	218,460	218,460	6.08%	9,982	19.91%	4.79%
事業費	48,175	45,288	47,565	43,353	-1,933	-4.27%	-4,212	7,435	15.63%	55,000	7,435	15.63%	1,500	56,500	56,500	-8.86%	1,500	15.63%	2.73%
事務費	18,982	18,035	22,175	20,268	2,233	12.38%	-1,907	3,236	14.59%	25,411	3,236	14.59%	3,089	28,500	28,500	-8.60%	3,089	14.59%	12.16%
減価償却費	39,108	35,463	37,309	33,907	-1,558	-4.39%	-3,395	5,179	13.38%	42,482	5,179	13.38%	-200	42,282	42,282	-9.10%	-200	13.38%	-0.47%
国庫補助金等特別積立金取崩額	-14,148	-13,218	-13,664	-13,192	24	-0.18%	472	-1,252	9.16%	-14,916	-1,252	9.16%	0	-14,916	-14,916	-3.45%	0	9.16%	0.00%
サービス活動費用計	262,549	253,227	267,235	268,770	15,543	6.14%	1,535	49,220	18.42%	316,455	49,220	18.42%	14,371	330,826	330,826	0.57%	14,371	18.42%	4.54%
サービス活動増減差額	33,860	46,557	30,066	32,982	-13,575	-29.19%	2,916	5,424	18.04%	35,490	5,424	18.04%	-2,816	32,674	32,674	9.70%	-2,816	18.04%	-7.93%
サービス活動外収益計	1,146	2,107	12,320	12,829	10,522	499.38%	309	-11,820	-95.94%	500	-11,820	-95.94%	0	500	500	2.51%	0	-95.94%	0.00%
サービス活動外費用計	5,241	4,921	3,952	4,600	-321	-6.52%	648	-199	-5.04%	3,753	-199	-5.04%	1,108	4,861	4,861	16.40%	1,108	-5.04%	29.52%
サービス活動外増減差額	-4,095	-2,814	8,368	8,029	10,843	-385.32%	-339	-11,621	-138.87%	-3,253	-11,621	-138.87%	-1,108	-4,361	-4,361	-4.05%	-1,108	-138.87%	34.06%
経常増減差額	29,765	43,743	38,434	41,011	-2,732	-6.25%	2,577	-6,197	-16.12%	32,237	-6,197	-16.12%	-3,924	28,313	28,313	6.71%	-3,924	-16.12%	-12.17%
特別収益計	0	0	1,289	44,477	44,477	0.00%	43,178	-1,299	0.00%	0	-1,299	0.00%	0	0	0	3323.94%	0	0.00%	0.00%
特別費用計	0	0	4	4	4	0.00%	0	-4	0.00%	0	-4	0.00%	0	0	0	0.00%	0	0.00%	0.00%
特別増減差額	0	0	1,295	44,473	44,473	0.00%	43,178	-1,295	0.00%	0	-1,295	0.00%	0	0	0	3334.21%	0	0.00%	0.00%
当期活動増減差額	29,765	43,743	39,729	85,484	41,741	95.42%	45,755	-7,482	-18.86%	32,237	-7,482	-18.86%	-3,924	28,313	28,313	115.17%	-3,924	-18.86%	-12.17%
その他の積立金取崩額	0	0	0	48,000	48,000	0.00%	48,000	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0	0.00%	0	0.00%	0.00%
その他の積立金積立額	9,620	3,219	13,585	80,983	77,764	2415.78%	67,398	3,615	26.61%	17,200	3,615	26.61%	0	17,200	17,200	496.12%	0	26.61%	0.00%
次期繰越活動増減差額	182,842	223,366	249,510	275,899	52,503	23.51%	26,359	41,396	16.59%	290,906	41,396	16.59%	11,113	302,019	302,019	10.50%	11,113	16.59%	3.82%

事業活動計算書

【別紙3】

平成27年度法人・施設整備状況一覧表

＜新規購入・更新＞

年月日	内容	支出額(円)
平成27年4月30日		1,479,600
7月4日	利用者用センサーマット	66,312
10月14日	業務用衣類乾燥機台替購入	842,400
11月17日	特養・居宅コピー機(3台)台替購入	969,839
12月2日	厨房機器スチームコンベクション台替購入	961,200
平成28年1月5日	汚物用・ニット洗い用洗濯機(二層式)2台	41,954
1月12日	医療機器(血圧計2台)購入	11,880
1月19日	センサーマット2台購入	63,180
1月28日	機械浴室の風呂マット購入	28,350
3月7日	事務用品テブラ購入	10,800
	小計	4,475,515

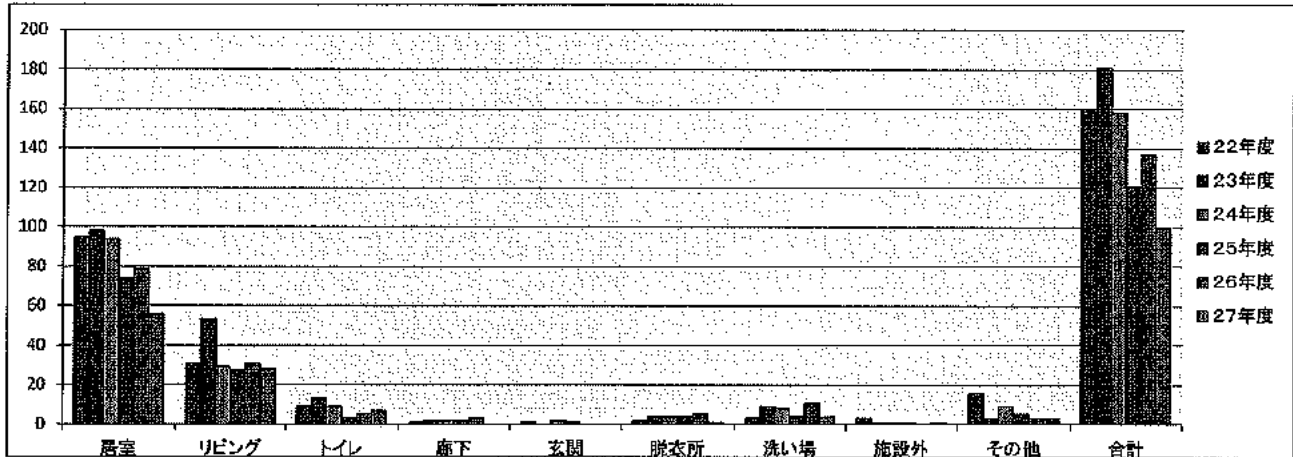
＜修繕その他＞

平成27年5月29日	特浴シャワーホースヘッド交換	10,476
6月1日	特浴・リフト浴安全ベルト交換	34,244
6月8日	各ユニットキッチン備付扉の修繕工事	70,373
6月9日	車椅子タイヤ・チューブ交換	17,604
6月11日	厨房室内床修繕工事	27,540
6月15日	行専用テントフレーム交換	15,750
6月22日	調理室殺菌灯交換	23,490
6月29日	消防設備(避難誘導灯バッテリー交換)	46,656
7月5日	2階洗濯室の配管修理	45,360
7月17日	消化ポンプ水槽ボルトタップ修繕工事	54,000
7月21日	特浴電動ストレッチャー(アクチュエーター)修理	79,920
8月3日	GHP室外機の冷却水ポンプ交換	216,000
8月12日	ベッド用リモコン修理3台分	45,792
9月1日	ベッド用リモコン・センサーマット修理	43,632
9月14日	PHS部品交換	20,088
9月16日	PHSバッテリー交換	19,440
10月8日	PHS部品交換	39,852
10月26日	ユニットキッチン水道レバー部品交換	35,640
11月2日	厨房ピット内配水管修繕工事	105,840
11月13日	ユニット内居室(2室)の通気弁修繕工事	129,600
11月18日	PHS部品交換	22,680
11月28日	GHP(ユニット内居室エアコン2基)修理	42,120
12月4日	ベッド用リモコン修理	4,536
12月7日	GHP(ユニット内居室エアコン1基)修理	28,080
12月8日	ベッド用リモコン修理	13,500
12月11日	厨房室内出入口扉修繕工事	18,900
12月15日	厨房機器(包丁まな板殺菌庫・軟水機・浄軟水機カートリッジ)修理	67,748
12月15日	厨房機器(キューブアイスメーカー)修理	34,743
12月23日	2階ユニット浴室手洗器配水管修繕工事	16,200
12月25日	厨房室内エアコンフィルター交換	16,416
平成28年1月5日	ベッド用リモコン修理	15,984
1月6日	厨房洗浄室内有圧換気扇修繕工事	210,600
1月7日	消防設備(避難誘導灯バッテリー交換)	10,152
1月25日	PHS部品交換	23,760
1月26日	車椅子(リクライニング)タイヤ・チューブ交換	13,813
2月3日	厨房まな板殺菌庫部品交換	23,738
2月10日	厨房機器ブリクサー蓋部品交換	12,960
2月18日	施設内非常灯取替工事(建築設備定期検査指導)	291,600
3月4日	リフト浴槽用水栓修繕工事	28,080
3月7日	ベッド用リモコン修理	15,984
3月24日	ユニット内(ゆきやなぎ)食器洗浄機ドアレバー交換	20,444
	小計	2,013,335
	合計	6,488,850

平成27年度 事故・ヒヤリハット報告書 発生件数報告書

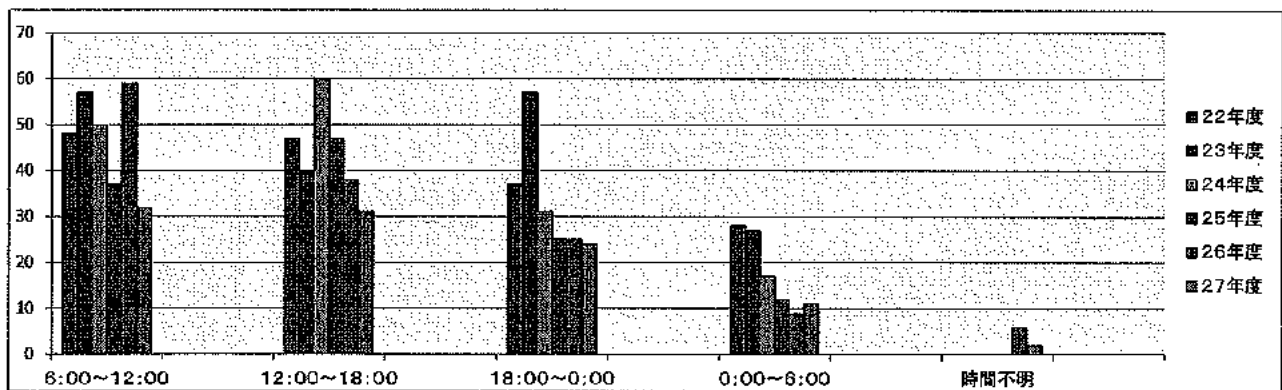
①場所別事故発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	玄関	脱衣所	洗い場	施設外	その他	合計
22年度	95	31	9	1	1	2	3	3	16	160
23年度	98	53	13	2	0	4	9	1	3	181
24年度	94	29	9	2	2	4	8	1	9	158
25年度	74	27	3	2	1	4	4	1	5	121
26年度	79	31	5	3	0	5	11	0	3	137
27年度	56	28	7	0	0	1	4	1	3	100



②- I 時間別事故発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	時間不明	合計
22年度	48	47	37	28	0	160
23年度	57	40	57	27	0	181
24年度	50	60	31	17	0	158
25年度	37	47	25	12	0	121
26年度	59	38	25	9	6	137
27年度	32	31	24	11	2	100

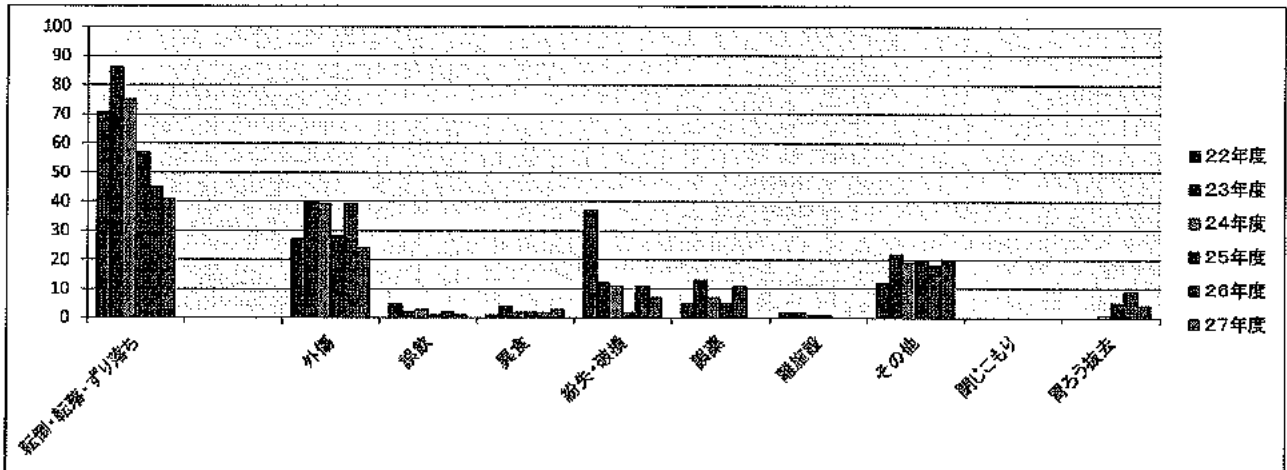


②- II 3時間毎の事故発生件数

	6:00~9:00	9:00~12:00	12:00~15:00	15:00~18:00	18:00~21:00
27年度	18	13	17	15	15
	21:00~0:00	0:00~3:00	3:00~6:00	時間不明	計
	9	3	8	2	100

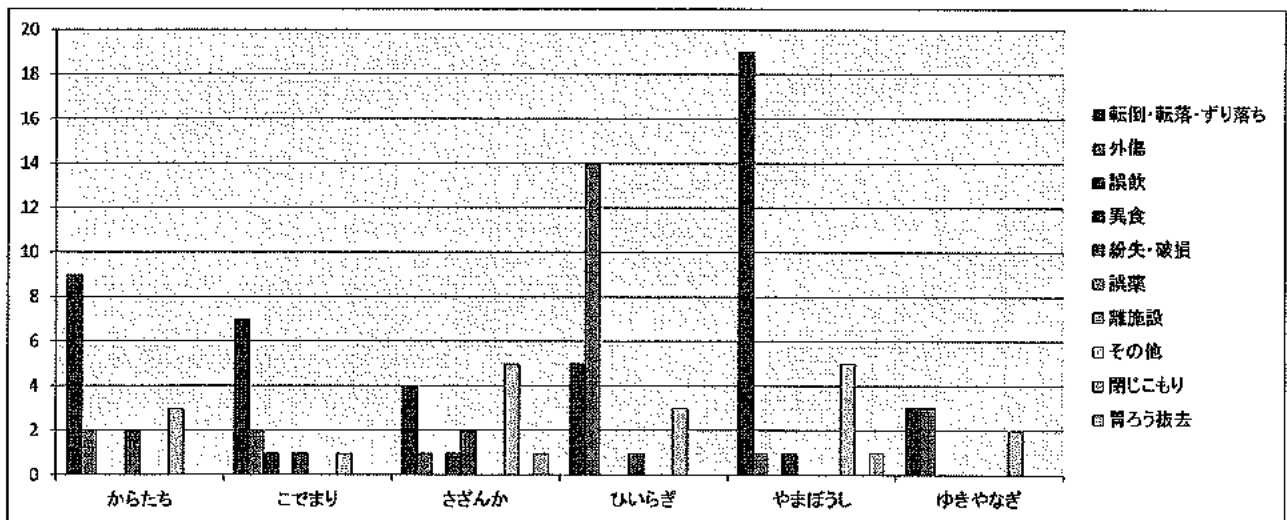
③-I 種類別事故発生件数

	転倒・転落・ずり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃ろう抜去	合計
22年度	71	27	5	1	37	5	2	12	0	0	160
23年度	86	40	2	4	12	13	2	22	0	0	181
24年度	75	39	3	2	11	7	1	19	0	1	158
25年度	57	28	1	2	2	5	1	20	0	5	121
26年度	45	39	2	2	11	11	0	18	0	9	137
27年度	41	24	1	3	7	0	0	20	0	4	100



③-II 平成27年度ユニット別・種類別事故発生件数

	転倒・転落・ずり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃ろう抜去	合計
からたち	9	2	0	0	2	0	0	3	0	0	16
こでまり	7	2	1	0	1	0	0	1	0	0	12
さざんか	4	1	0	1	2	0	0	5	0	1	14
ひいらぎ	5	14	0	0	1	0	0	3	0	0	23
やまぼうし	19	1	0	1	0	0	0	5	0	1	27
ゆきやなぎ	3	3	0	0	0	0	0	2	0	0	8
合計	47	23	1	2	6	0	0	19	0	2	100



【別紙3-③】

平成27年度 月別・ユニット別事故・ヒヤリハット発生件数

①場所別発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	玄関	脱衣所	洗い場	施設外	その他	合計
4月	4		1							5
5月	7	2					1		1	11
6月	5	3					2			10
7月	4	3	3						1	11
8月	2	1								3
9月	6	2								8
10月	3	1	1							5
11月	6	1						1	1	9
12月	9	8	2							19
1月	4	3				1	1			9
2月	4	2								6
3月	2	2								4
合計	56	28	7			1	4	1	3	100

②時間別発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	時間不明	合計
4月	1		4			5
5月	7	1	2			10
6月	3	5	2	1		11
7月	4	4	2	1		11
8月		2	1			3
9月	1	3	2	1	1	8
10月	2	2		1		5
11月		5	4			9
12月	6	6	3	3	1	19
1月	6	2	1			9
2月	1	1		4		6
3月	1		3			4
合計	32	31	24	11	2	100

③3時間毎発生件数

	6~9時	9~12時	12~15時	15~18時	18~21時	21~0時	0~3時	3~6時	時間不明	合計
4月		1			2	2				5
5月	5	2		1	1	1	1			11
6月	1	2	2	3	2					10
7月	2	2	2	2	2			1		11
8月				2		1				3
9月	1		2	1	1	1		1	1	8
10月	1	1	1	1				1		5
11月			4	1	2	2				9
12月	4	1	4	3	2	1		3	1	19
1月	4	2	1	1	1					9
2月		1	1				2	2		6
3月		1			2	1				4
合計	18	13	17	15	15	9	3	8	2	100

④種類別発生件数

	転倒転落すり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃腸抜去	合計
4月	1	3			1						5
5月	5	4						2			11
6月	2	4		1				3			10
7月	6	1			2			2			11
8月	2							1			3
9月	3	4						1			8
10月	5										5
11月	4	1		1	1					2	9
12月	7	4	1		2			4		1	19
1月	3	1		1				3		1	9
2月	1	1						4			6
3月	2	1			1						4
合計	41	24	1	3	7	0	0	20	0	4	100

⑤ユニット毎種類別発生件数

	転倒転落すり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃腸抜去	合計
からたち	9	2			2			3			16
こでまり	7	2	1		1			1			12
さざんか	4	1		1	2			5		1	14
ひいらぎ	5	14			1			3			23
やまぼうし	19	1		1				5		1	27
ゆきやなぎ	3	3						2			8
合計	47	23	1	2	6	0	0	19	0	2	100